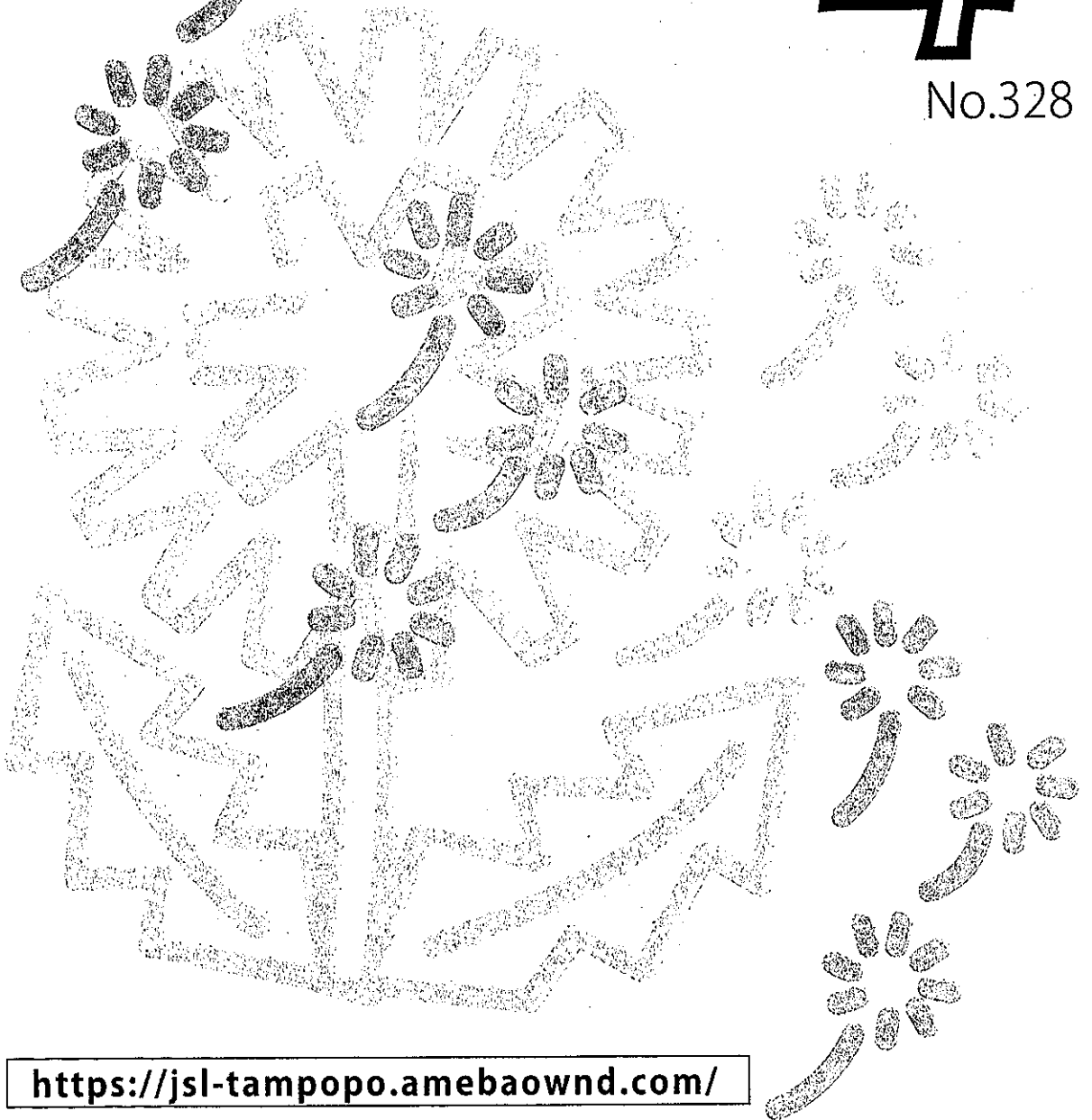


たんぽぽ

2022年度第

4号

No.328



<https://jsl-tampopo.amebaownd.com/>



2022年度第2回講演会 (12月6日しゃれなあと) 手話言語条例

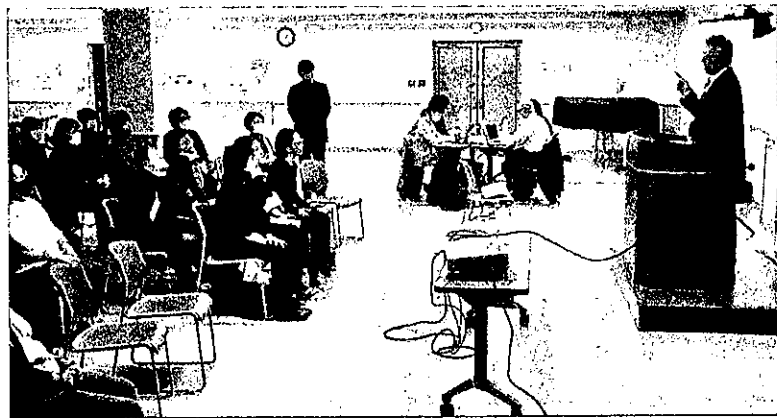
本多忠雅氏 (世田谷区聴覚障害者協会 理事) からお話をいただきました。
新型コロナ禍の影響による数回の延期から、今回やっと講演となりました。
たんぽぽでの講演は2007年1月以来になり、ほぼ16年ぶりになります。

手話のコミュニケーション方法や手段を、卓球やボールを使って分かりやすく解説していただきました。
片方(伝え手)がラケットを持っていても、相手(受け手)も持っていなければ受けられない、つまり対話ができないですね。



2011年(平成23年)3月の東日本大震災の時、政府高官の記者会見の横に手話通訳が導入されたのをきっかけに、聴覚障害者に生の情報が得られるようになりました。

「手話言語条例」は徐々に周知し、定着されつつあるようです。世界では手話を言語として認定した国も増え、日本各地の自治体でも手話言語法ができてきました。
今テレビドラマなどで手話がクローズアップされてきていますが、身近に私たちの方からも手話を広めていきたいですね。



クリスマス交流会

12月10日土曜日「第35回 土の会クリスマス交流会」が開催されました。

コロナ禍で中止から3年ぶりの開催になります。飲食はありませんでしたが、ビンゴなどゲームを楽しみました。

グループごとで自己紹介など手話ベリでスタート。ビンゴでは杉並中央ろう学校の3人の生徒さんの協力もいただいて盛り上がりました。

ろう学校の活動映像を見た後は、生徒さんと手話単語(表現)の違いを比べるという「年の差なんてクイズ」。新しい手話の進化というか、ジェネレーションギャップを感じさせられました。



土の会：
NPO世田谷区聴覚障害者協会
手話サークル輪の会
手話サークルたんぽぽ
世田谷区登録手話通訳連絡協議会の加盟4団体



たんぽぽ入会の新しい皆さんは、

ろう重複支援施設「たましろの郷」のことを



ご存知でしょうか。

たましろの郷は聞こえない上に他の障害も持つ「ろう重複者」を対象に、集団の中で心身ともに健康で自立した生活と活動を支援する障害者支援施設です。

施設の場所は青梅市で東青梅駅から車で8分の市街地から少し離れた所にあります。そこではたましろの郷の仲間たちがクッキー作り・パン作り・会社学校での清掃作業などで収入を得ています。

たんぽぽでも3月3日の耳の日や夏祭りなどで仲間と1日一緒に過ごすボランティアでの支援やバザー等で得た売上げの寄付などで支援しています。

少しずつで良いのでたましろの郷への支援を宜しくお願いします。<たましろの郷委員会>

編集後記

新型コロナ、また少し広がっています。第8波ですね。
インフルエンザもありますので、この冬は油断しないで気をつけましょう。
サークルも「ウィズコロナ」で検温、消毒に力をいれています。<YU>

今後の予定 ※予定は都合により変更になることがあります

●2月

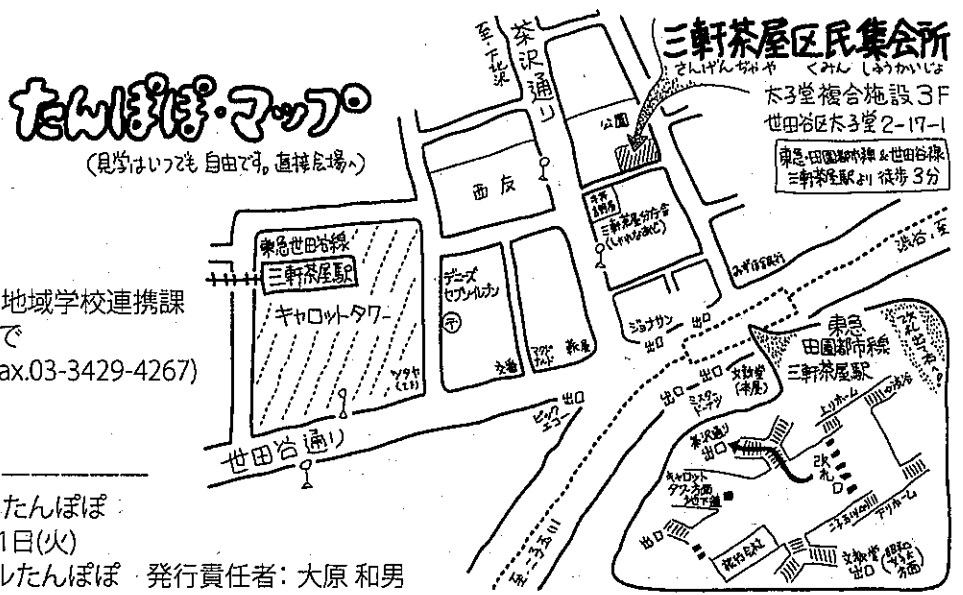
7	火	例会: 全体会	18(土)一日研修
14	火	例会: 学習	
21	火	例会: 学習	
28	火	例会: 一日研修報告	

●3月

7	火	例会: 全体会	
14	火	例会: 総会資料発送	
21	火	休み	
28	火	例会: 総会	

・活動時間 19:00~20:00

※相談会:3月17日(金)



連絡先…
 世田谷区・生涯学習・地域学校連携課
 たんぽぽ学級担当まで
 Tel. 03-3429-4259 (Fax.03-3429-4267)
 世田谷区弦巻3-16-8
 世田谷区教育会館

手話サークル機関誌 たんぽぽ
 発行日: 2023年1月31日(火)
 発行: 手話サークルたんぽぽ 発行責任者: 大原 和男